

北海道文化賞

とき た のり お
時 田 則 雄

農業を営む視点から、北海道の厳しい風土に根ざした短歌を詠み続け、読売文学賞をはじめ、数多くの賞を受賞している。その作品にはアイヌ文化や言語を積極的に取り入れており、アイヌの精神を重んじてきた。また、月刊短歌誌「辛夷」の編集発行人を20年近くも務め、多くの新人を発掘、育成したほか、新聞社、雑誌社、テレビ局による顕彰で短歌選考、大会等で講演を数多く行っており、北海道の歌壇の発展に大きく寄与している。

◎ 受賞者の主な略歴

- S42 帯広農業高校、帯広畜産大学別科を経て、農場経営(現在66ha)
- S55 「一片の雲」50首により角川短歌賞
- S57 歌集「北方論」で現代歌人協会賞
- S60 歌集「緑野疾走」出版
- S62 歌集「凍土漂白」で北海道新聞短歌賞(以後、同賞選考委員)
- H 2 「家の光」選者就任、歌集「十勝劇場」出版
- H 4 日本文藝家協会会員(司馬遼太郎推薦)、「辛夷」編集発行人就任(H23年退任)
- H 5 現代短歌文庫「時田則雄歌集」出版
- H 9 十勝文化賞、北海道新聞選者就任、歌集「夢のつづき」出版
- H10 帯広市産業経済功労賞
- H11 エッセイ集「北の家族」出版、「巴旦杏」21首と全歌業により短歌研究賞
歌集「ベルシュロン」出版
- H12 NHK北海道地方放送番組審議会委員就任(2期4年)
- H15 「探求・現代文(高等学校国語教科書)」に1首採用、歌集「石の歳月」出版
- H17 エッセイ集「歌の鬼-野原水嶺秀歌鑑賞」、「野男の短歌流儀」出版
- H18 歌集「野男伝」出版、帯広市文化賞
- H20 歌集「ボロシリ」で読売文学賞、芸術選奨文部科学大臣賞
- H24 十勝毎日新聞「編集余録」執筆メンバー就任
・近刊 歌集「オベリベリケブ百姓譚」、「北方論」(文庫本)

